



久山中学校だより

令和6年7月1日発行 第4号



自己実現を目指す生徒の育成

《3学年進路説明講演会・説明会の実施》

6月3日(月)に、進路講演会・説明会を実施しました。進路講演会では、九州産業大学付属九州高等学校の近藤 竜也先生を講師にお招きし、「高校進学にあたり、今知っておくべきこと、できること」という演題で、受験生の心構えについてご講話いただきました。志望校選びのポイントとして、①行ける高校ではなく、行きたい高校にすること、②自分の将来から逆算すること、③オープンスクールに参加して高校のことを知ることがあげられました。他にも、「中学生のときにできないことは、高校生になってもできない。」ことを強調され、今からでも主体的に学ぶ意識、挨拶・礼儀・身だしなみの習慣を確立するようご指導されました。多くの高校生と接し、その後の進路も見守ってきた経験からのご講話だけに、3年生も食い入るように傾聴していました。

進路説明会では、進路先を決定するに際して生徒と保護者が知っておくべき内容、例えば、公立・私立高等学校・各種学校等の特徴、受験形態の違い、就職や奨学金等について3学年から情報提供しました。多くの中学生が夏休みから高校受験に向けた総復習や進路先決定に取り組みはじめます。そのため、生徒は真剣な眼差しで資料に目を通し、中には保護者と現在の希望について交流する姿も見受けられました。3年生が主体性を発揮する正念場が間近に迫っています。

《2学年高校の先生から学ぶ会の実施》

5月28日(火)に、1年後の進路選択に向けた心構えをつくり、今の学習や生活に対する姿勢を振り返らせることを目的に、高校の先生から学ぶ会を実施しました。進路講演会同様に、福岡工業大学附属城東高等学校で勤務される、寺戸洋介先生を講師にお招きし、ご講話いただきました。スポーツ選手等を例にし、知ること、準備することの大切さについてご講話いただきました。楽しく、分かりやすいご講話だったにもかかわらず、**知ること**でしか**納得できる判断につながらないこと**を2年生に突きつけていただきました。2年生も1年後に控えた進路選択に向けて、これまで苦手としてきた所や避けてきた所を直視せざるを得ない学びとなりました。

自己実現に真摯に臨むとき、人は必ず全力を出し、主体性を発揮せざるを得なくなります。主体的な生徒の育成に向けて、今後も本校では「自己実現」に迫る機会を意図的に設定してまいります。進路学習はそのための貴重なツールです。ご家庭でも、将来の夢や少し先の目標についてお子様と語らう場を設けていただきますようお願いいたします。

<3年生の振り返り>

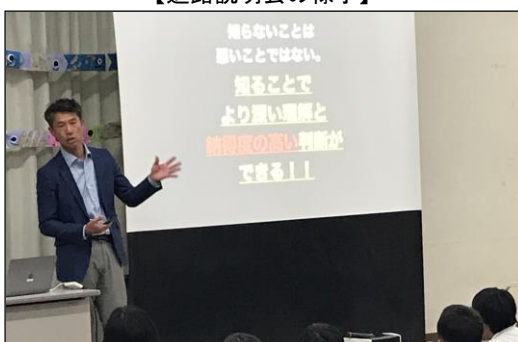
- 今できないことは高校でもできないという言葉から、計画的に物事を進めることができない自分を今年1年かけて変えていこうと思いました。
- 今自分が目指している高校が自分というものに見合っているか、他にどんな高校があるのか、これらの問いを一から見直す良い機会になりました。



【進路講演会の様子】



【進路説明会の様子】



【高校の先生から学ぶ会の様子】

<2年生の振り返り>

- 今までの自分は、自分に甘い生活をしていました。これまでの遅れを取り戻せるように、良い習慣化に取り組みたいです。
- ただ宿題することは「やらされる」と同じことだと思いました。「やらないといけない」からやっていたことが多かったです。宿題+αが大切だと実感しました。

ほっといい話 ～一般の方からの電話の内容～

長者原駅の階段で荷物が重く困っていたところ、5名の男の子が側を通り過ぎていきました。ところがわざわざ戻ってきて、声をかけ、1人はずっと荷物を持ち、他の4名も付き添ってくれました。大変感じが良い5名の姿に心が温くなりました。勇気も素晴らしいものです。話の中で久山中学校の生徒であること、サッカーをしていることを知り、連絡しました。

久中生の素敵なおふりまいが、これからも周囲の人を元気にし、地域を照らし、大きな輪となって広がっていくことを期待します。

学校経営要綱承認の報告 ～学校運営協議会の実施～

学校運営協議会とは、学校が地域と目標を共有し、一体となって子供の成長を支え育む制度（別名「コミュニティ・スクール」）です。毎年、校長が4月に策定した学校経営要綱及び方針等を学校運営協議会でご提案し、運営協議会委員の皆さまからご承認をいただいています。

本年度の第1回学校運営協議会を6月17日(月)に実施しました。本年度は、協議会委員の皆様(右表)に授業の様子も参観していただきました。久中生の集中した授業態度と行き届いた環境整備に称賛のお言葉をいただきました。

学校側からは、本年度の重点目標「自己実現を目指し主体的・協働的に活動する生徒の育成」を設定した理由を説明し、それらの解決に向けた指導の重点と経営の重点を提案しました。協議では、委員の皆様からは、貴重なご示唆を賜り心より感謝申し上げます。会の最後には、学校経営の方針等についてご承認をいただいたことをこの場を借りてご報告いたします。学校運営協議会委員の皆様からいただいた主なご意見と評価(4段階評定尺度の平均値)を紹介します。

	氏名(敬称略)	所属・役職名
1	伴 義憲(会長)	地域代表
2	河邊 秀美	社会福祉協議会 会長
3	松田 勉	社会教育委員会 会長
4	井上 久美子	文化協会 会長
5	飯尾 明彦	地域学校協働本部 中学校担当
6	木下 雅之	区長会 代表
7	三留 政治	スポーツクラブ 会長
8	井上 浩希	学校担当指導主事
9	末永 誠二	接続小学校 教頭
10	今田 雅弘	接続小学校 教頭
11	常磐 恵美子	P.T.A会長

【令和6年度学校運営協議会委員】



【学校運営協議会委員の皆様の参観の様子】



【学校運営協議会の様子】

<重点目標等の目標設定について> 評価3.50

- 主体性の向上は、本校の年来の課題であり、そこに焦点化することは意義があると思います。
- 生徒が自己実現を目指せるように、一人一人が自己欲求を明確化する指導をお願いします。

<教育活動について> 評価3.40

- 失敗から学ぶことが多いので、異学年や地域の人と成功も失敗も共に味わう教育活動を行うことに賛成です。
- 子供は地域が育む。地域を巻き込み、子供一人一人が意味ある存在であることを知らしめていきたいです。

<学校経営について> 評価3.40

- 先生方の負担を軽減することが1番の課題だと思います。
- 身だしなみ検討や校内OJTなど魅力的な取組があり、今後どのような成果が出るか楽しみです。

部活動生の夏到来 ～部活動選手激励会の実施、糟屋区中体連の開催～

部活動生は、3年生の最後の大会やコンクールに向けて練習や制作、準備に励んできました。6月10日(月)には、久中生全員で部活動生を壮行する部活動選手激励会を実施しました。この中で、各部の部長が力強く大会やコンクールでの目標や意気込みを宣言し、これまでの努力の成果を発揮することを誓いました。

6月15日(土)から糟屋区中体連が幕をあげました。運動部選手たちは激励会での誓いのとおり、磨き上げた技と鍛え上げた体力を発揮し、各会場で清々しい頑張り最後まであきらめない粘り強さが輝きました。

本大会は6月29日(土)に一旦終了しました。保護者の皆様には、梅雨時期に応援いただき、誠にありがとうございました。併せて、部活動指導員、社会体育団体の皆様には、生徒の自己実現に向けてご尽力を賜り心より感謝申し上げます。引き続き、未実施の糟屋区大会出場の実運動部選手、筑前地区大会に勝ち進んだ運動部選手にご支援くださいますようお願いいたします。本大会の結果は次号学校だよりにてお知らせする予定です。

なお、吹奏楽部は7月20日(土)にレスポアール久山にて卒部コンサートを開催します。美術部は、11月17日(日)の中文連発表会等に出品する作品を制作しているところです。



【健闘を誓う各部長たち】



【中体連当日の運動部員の活躍の様子】